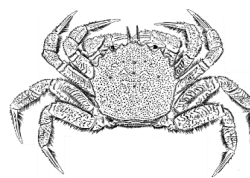


# 33. ケガニ

主な漁業と漁期  
けかにかご：6月下旬～7月上旬



## 噴火湾海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

雌雄ともに季節的な深淺移動を行い、1～5月は水深20～60m、9～10月は水深60～70mが主分布域となります。漁獲対象サイズ（甲長8cm以上）の雄は大きな水平移動をしません、胆振太平洋海域から本海域へ移動する個体があります。

#### ◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期：7～8月と11～翌4月の2群があると考えられ、幼生ふ化期は1年以上経過した3～4月です。
- ◎産卵場：不明ですが、抱卵個体は噴火湾湾奥部に多く分布します。
- ◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせて2～3年ごとに行われます。交尾から産卵までは半年以上を要し、メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

#### ◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	49	42	68	39
3歳	61		135	
4歳	74		239	
5歳	87		393	
6歳	87		393	
7歳	101		612	
8歳	101		647	

\*) 2001～2013年の測定データ、三原ら(2016)、Abe(1992)より  
\*) 加齢の基準日：4月1日

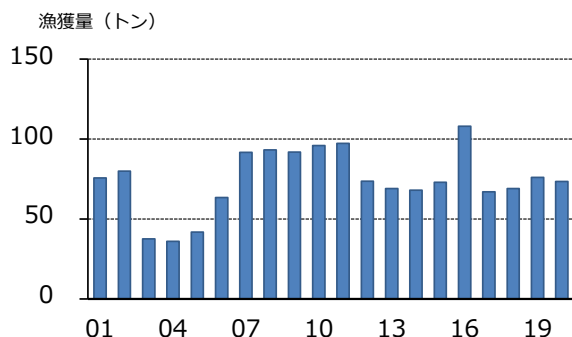
- ◎成熟年齢・甲長
  - ・オス：甲長49mm、2歳から成熟する個体が見られます。
  - ・メス：甲長42mm、2歳から成熟する個体が見られます。

### 資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

2020年度の漁獲量は73.5トンで、前年とほぼ同等でした。2020年度の資源水準は中水準と判断され、資源調査結果から翌年にかけての資源動向は増加と判断されました。本資源の漁獲は、知事許可のけかにかご試験操業による採捕に限定され、漁獲量や漁期等が厳しく制限されているため、概ね適切な資源利用状況にあると考えられます。



2020年度  
の水準



中水準

2021年度  
の動向

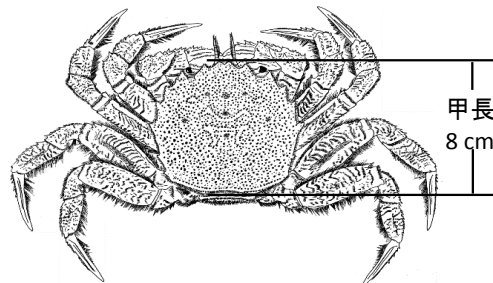


増加

### 資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則
  - メス、および甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の制限条件等
  - 知事許可による試験操業に限定されており、許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年の資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆現状の措置を遵守する必要があります。同時に、密漁対策を継続していく必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477  
電話 0143-22-2327